

いちご栽培管理 (R6.1.)

(有) 丸 富

12月は徐々に冷え込んできたものの、日中は暖かい日が多く、徒長傾向でランナーの発生が多かった。中旬以降、急に冷え込んで、生育が遅れた。慣行区で、先青果、先白果が多かった。各地で害虫の発生が多かった。

肥大促進

近日点で、且つ満月頃は着果負担が大きくなるので、なり疲れしないよう、樹勢を維持する。

肥大促進に **K-40 250g/10a** と **酸カル 50 cc/10a** と **サンミネーラ 50 cc/10a** を灌水する。

害虫対策

近日点で樹勢が低下すると、ダニが盛んに繁殖するので注意する。近日点では害虫が発生しやすいので、事前に対応する。

隠れている害虫を事前に追い出すよう **バイオアクトTS 50~100 cc/10a** を灌水して、害虫防除を行う。
害虫の繁殖抑制に **バイオアクトTS 2,000~3,000 倍** を防除時に混用する。

着色促進

曇天で日照不足が続くと着色が遅れ、着果負担が大きくなるので、早く収穫することを心がける。果実は早く収穫すれば、次の果実がまた着色して次々に収穫できる。

着色促進に **笑顔 1,000 倍 (又は天地の恵み 500 倍)** と **サンミネーラ 10,000 倍** を連続で葉面散布する。

品質の向上

厳寒期は根の働きが悪いので、着果負担が大きくなると、養分競合して花粉が弱くなる。花粉の強さが品質を大きく左右する。

各花房の開花前から **天地の恵み 200 cc/10a** と **酸カル 50 cc/10a** と **サンミネーラ 50 cc/10a** を2、3回灌水する。

病害対策

新月過ぎは病害の発生が多くなるので、窒素過多に注意しながら株の管理を行う。

病害抵抗性の向上と細胞壁強化に **酸カル 2,000~3,000 倍** と **サンミネーラ 10,000 倍** を防除時に混用する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 5~7ℓ/10a

時を越えた贈り物(又は天地の恵み) 100~200cc/10a

サンミネーラ 50~100cc/10a

バイオアクトTS 50~70cc/10a

5~7日毎に灌水する場合
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 100~150 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)